



発行 今井町並み保存会  
 発行日 令和4年9月1日  
 電話 0744-22-1128  
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>  
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp  
 ◇ご意見・ご感想は  
 今井景観支援センターまで

第15回 灯火会 開催

町の中に灯火点灯!!

8月6日、3年ぶりに町内の道路を含めて約2,000個を灯す灯火会を開催しました。過去2年は、コロナ禍の為、春日神社境内に限定した灯火会しかできませんでした。しかし、「祈りの火」として町内にも灯火することができました。下準備は7月末から始め、灯火筒とバルーン型照明器具は、観光政策課や今井町並み保存整備事務所



華蕙



稱念寺本堂

春日神社の宮の前通り



御堂筋



の方々の協力で借受してくれました。夕方の点灯に向けて前夜から当日の朝に本格的準備を実施。

当日、華蕙では、19時から来賓として亀田檀原市長、細川市議会議長を迎えて点灯の式典を簡素に実施。

町内では区長と自治委員や近所の皆さんが中尊坊通り、御堂筋、稱念寺西の道路、旧南口門周辺、宮の前通り、今井西環濠に一生懸命灯火筒を並べ点灯しました。

稱念寺では、本堂内の照明をして、地域づくり支援人材養成塾の講師や塾生に加えて倉敷から今井を勉強に来た方が中心になって灯火を灯してくれました。

春日神社の境内においては、春日講の役員・世話役の皆さんが灯火をつけ、又、保存会が冷し飴水を無料でふるまい、子供達には短冊に願い事を書いてもらって七夕飾りを作りました。そこに募金箱を設置したところ、6,995円の浄財が集まりました。



西環濠では、初めて灯笼流しを実施。角型の紙製灯笼の四面に絵や願い事を書いて合わせて14基の灯笼を流しました。微風に揺れ、流れ動く灯笼は風情に富み、幻想的

でもありません。心配していた天候も、灯火点灯時間内に少しの間小雨が降って、灯火が消えたりいろいろハプニングも発生したが、21時の消灯までほのかな灯火とともに穏やかな時の流れに浸りました。

消灯後、灯火筒は全て回収、翌日は朝から猛暑の中、公民館前で灯火筒にこびりついた蠟の除去作業を実施しました。

一方、道路の脇の縁石、側溝にこぼれた蠟がないか点検し、除去作業を行い、灯火会の後片付けを完了しました。ご協力いただいた皆様から感謝申し上げます。



汗だくの口ウ(蠟)取り作業

今井町の商い④

若林 稔

今回は紙面も少ないので第一回目記載の我が家から西へ、通称屋敷と呼んでいる地域までを書いてみます。

阿伽陀屋若林亭(松尾の墨屋さん①)を過ぎて、山崎ラジオ店②を西へ二軒行くと井上の縄屋さん③、働き者のおばさんが藁を使って毎日縄緬い機を踏んでおられた。

西隣は熊源④、乾物、荒物を商っておられたが、駄菓子もあって、よく買いに入っていました。

二軒西側には細い路地があつて、河原の屑鉄屋さん⑤、路地を挟んだ西側には天理教の新しい教会⑥が出来て、おやつをくれるというのでお勤めに参加したものだ。

熊源の北向かいには柴田の揚げと豆腐のお店⑦、記憶ではお店にあまり商品は並んでいなくて夫婦で自転車での行商が主であつたと思う。

八幡神社に折れる北西の角は、紺谷の織物工場⑧で八幡神社に隣接するまでの広さがあつた。東向かいには三軒長屋でその真ん中が森田の竹籠屋さん⑨。

大家族のお宅でお父さんと息子さん二人、三人はいつも竹籠を編んでおられ、夏の暑い時には八幡神社の木陰で筵(ムシロ)を敷いて作業されているのを飽きもせず見ていたものだ。

出来上がった籠を一杯担いで農山村地域

に売りに出かけられる姿を見かけました。

紺谷の角に戻り、南に入ると西側には井上のとんちゃんと言った腕のいい左官屋さん⑩で、その南は福島貝ボタン製作所⑪。戻つて西へ堀を超えたとお役屋敷という地名の一角に入る。

江戸時代に代官所を置いた地で約6反ほどの領地があつたので、子供の頃からの一帯を屋敷という名前と呼んでいた。

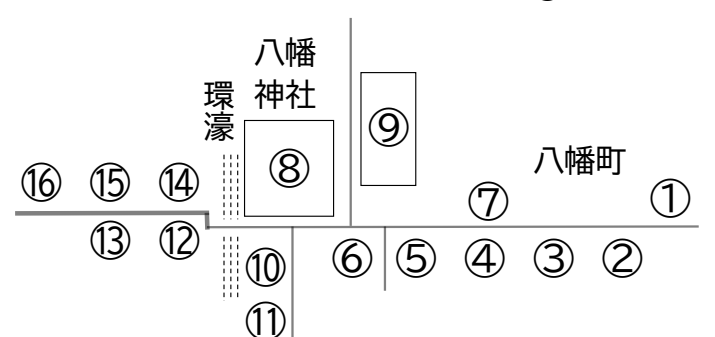
入り口南角、山本⑫のおばさんが大きな手織り機で大和木綿を織っていたのを飽きないで見っていた。

西隣は福島さん⑬で主人が大和タイムスの新聞記者、いつもカメラを持って出かけていた。

北側角は中井さん⑭、呉服の行商をされていた。その西隣は瀬川の大工さん⑮、藁ぶき屋根が珍しかった。

さらに西には池永さん⑯、お姉さんが裁縫、妹さんが琴の先生でいつも着物姿で居られたのが子供心にまぶしかった。

この一角もなぜ重伝建地区に指定されなかったのだろうか、歴史的にも大事なと



ころなんだが、とつい思ってしまう。

稱念寺 イベント特集

8月9日～10月14日

奈良県立橿原考古学研究所アトリウム 展「稱念寺の地下遺構」の開催

当研究所が平成27年に実施した稱念寺の地下遺構の発掘調査の成果を紹介するパネルと出土品の展示。

9月22日

稱念寺のご本尊・阿弥陀如来像を仮本堂から本堂に遷座。

14時 稱念寺落慶法要(11月27日、28日)に先立つイベント開催  
「こ法話 やなせ なな氏」  
(歌う尼さん教恩寺住職)

9月28日

10時 稱念寺落慶法要記念講演  
「講師 笑い飯 哲夫氏」

11月27日

10時 献茶式・稚児行列  
13時30分 音楽法要ピアノコンサート  
(イリーナ・メジューエワ氏)

11月28日

13時30分 奉納能報恩講法要  
コンサート(タケカワ ユキヒデ氏)

十五夜 箏ごんさーとLive

主催 沢井箏曲院勝美会

日時 9月10日(土)19時～20時  
場所 華薨(南駐車場にて)